


2022 年度
学校関係者評価報告書

2023 年 7 月

学校法人八文字学園
 水戸経理専門学校

■2022 年度 学校関係者報告書

学校法人八文字学園水戸経理専門学校は、学校評価に関する関連法令等に基づき、学校関係者評価委員会を設置し、「2022 年度自己点検評価報告書」（2023 年 3 月作成）を基本にした学校関係者評価を実施しましたので、下記の通り報告します。

今後も、学校関係者評価の結果を踏まえ、学校関係者と連携・協力し、教育水準の向上、学校運営の改善、強化に取り組んで参ります。

1. 対象期間

2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

2. 実施日時・会場

2023 年 3 月 23 日(木) 14:00～15:30 水戸ビューティカレッジ レクチャールーム

3. 実施方法

- (1) 学内に「学校関係者評価委員会」を設置し、委員会を中心に評価を行っております。

委員会構成：委員長 学校長

委員 卒業生、保護者、地域住民、関連企業、法人事務局長、
総務部、教務部、就職相談室

- (2) 評価は「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考に行っています。

- (3) 評価は、年一回年度末終了後に行います。

- (4) 評価結果の公開は、本報告書をホームページに掲載することにより行います。

学校関係者評価委員

氏名	所属
小川 哲	大関税務会計事務所 公認会計士 税理士
篠原 勉	篠原税理士事務所 所長
藤田 卓也	株式会社 フジタビジネスマシナズ 代表取締役
二川 泰久	株式会社 日東 代表取締役社長
大部 昇	サンライト旅行合同会社 相談役
田中 邦彦	カメラのタナカ 店主

4. 自己評価の項目

自己評価は、以下の 11 項目について実施します。

- (1) 教育理念・目的
- (2) 学校運営
- (3) 学校活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 国際交流

5. 評価項目に対する評価

評価は 4～1 の点数で記載します。

評価 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切 0：無該当

■基準 1	教育理念・目的	評価 4.00
--------------	----------------	----------------

- ・教育理念が明確に定められ、ホームページ等で公開しているので良いと思う。
- ・コミュニケーション能力の重視
自ら考え回答できる人間性豊かな人材を育成しているところが評価できる。
- ・プレゼンテーション能力の育成
自己表現力、論理的な思考と構成のスキルの向上を図り、より良い提案を的確に伝える力を育成しているところが評価できる。
- ・よりよいマナーの修得
職業人として当たり前のことを当たり前でできる意識と実践力を育成しているところが評価できる。
- ・常に社会情勢や業界の動向を見ながら、求められる人材像を検討しているところが評価できる。

■基準 2	学校運営	評価 3.57
--------------	-------------	----------------

- ・全体計画・単年度重点計画に基づいて、教育理念の実現を目指した学校運営がなされているものと判断できる。
- ・運営方針は、目的・事業計画を基に年度ごとに策定し、年度初めに全教職員対象の研修会および教育研修会で周知しているものと思われる。
- ・学校運営に関する組織や人事・給与に関する制度も整備されているところが評価できる。
- ・教育活動に関する情報公開については、個人情報保護の保護に注意を払いつつ、パンフレットやホームページ等で適切になされているものと判断できる。

■基準3 教育活動

評価 3.33

- ・教育理念に沿った教育課程が編成されており、実施方針が策定されている。また、学科ごとにカリキュラムは体系的に編成されている。
- ・育成人材像や業界のニーズ、目標等を明確にしているが、今後も継続的に検討していく必要がある。
- ・関連分野の企業等と連携し、カリキュラムの見直し等を行っており、定期的に教育課程編成委員会を開催するなど、改善に向けた努力が伺える。
- ・「学生による授業評価アンケート」の結果をふまえ、各教員が改良・工夫を重ね、さらなる質の向上を目指してほしい。
- ・各学科に、目標とする資格が明確に定められている。さらに高度な資格取得を目指して、研究を重ねて欲しい。
- ・教員の採用は、取得資格、経験年数、業務内容、指導力、人間性等の教員としての資質面を重視しており妥当である。
- ・職員の研修については、個別に適宜実施しており、組織的な取り組みが十分とは言えないので今後検討していく必要がある。

■基準4 学修成果

評価 3.67

- ・就職については担任と進路指導室が連携し、各種講座の開講や個別指導など、総合的な就職支援活動が十分なされているものと思われる。就職率は各学科とも100%を達成しており、高い結果を出しているところが評価できる。
- ・ほとんどの学生が希望分野・希望地域に就職している点が評価できる。
- ・資格については、各学科とも特別講座や直前対策講座等、組織的な指導体制が組まれている。特に医療事務関係の検定試験の合格率は、全国平均や他校と比較しても高水準をキープしている。今後も引き続き指導方法の工夫改善に努めて欲しい。
- ・退学については精神的な問題や経済的原因など、対応が難しい複雑な要因もあると思うが、今後も担任を中心に退学率の低減を目指して努力を続けて欲しい。
- ・卒業生の状況については、同窓会等が組織されておらず、個別的な状況把握に止まっているので、今後は組織的な取り組みについて検討し教育改善に活かして欲しい。同窓会組織はOBとのつながりも強くなりOBからのフィードバックや教職員の人材もOBからの情報として考えられる。

■基準 5 学生支援

評価 3.50

- ・専任の職員による就職相談室が設置され、各団体との合同企業説明会の企画など、担任と就職相談室が連携して指導にあたっている。
- ・学生相談については担任のみならず、各教員が連携してフォローしていることは良いことだと思う。
- ・学校独自の支援制度として、一人暮らし支援制度や定期券半額負担制度、スクールバスの運行、特待生入学制度、学費の分割納入など、色々な経済的支援制度が整備されている。また、日本学生支援機構奨学金(給付型を含む)や県の奨学金の紹介など、経済的側面に対する支援体制は十分整備されていると思われる。
- ・学生の健康管理については定期的な健康診断を実施しており、必要に応じ学校医・スクールカウンセラーと連携し適切な対応ができています。
- ・課外活動として学校全体で行う日帰りバス旅行、各種研修旅行、スポーツ大会、ボランティア活動等、多岐にわたって支援している。
- ・保護者と適切な連携が取られていると思われるが、時代の変化に伴い保護者も多様化している。更なる連携の強化が望まれる。
- ・教育環境については、実習設備等については十分であるが、エレベーターの設置やバリアフリー化等について今後検討の余地がある。
- ・高校生向けの各種講座の開設など、高校との連携によるキャリア教育・職業教育が行われており、今後も引き続き継続して欲しい。

■基準 6 教育環境

評価 3.17

- ・実習設備機器が素晴らしく、即戦力の人材を育成する環境が整っている。
- ・インターンシップについては、学生全員が実施している学科もあるが、学科の性質上、受け入れ先の確保が困難な学科もあり今後の検討課題である。
- ・各種防災に対する安全指導體制を進めており、業者等による消防設備等の点検や学生傷害保険への加入等も行っている。

■基準 7 学生の受け入れ募集

評価 3.83

- ・募集活動は、特に教育内容や就職状況等、誇大な表現は避け、解り易い説明で、事実を正確に伝えるよう心がけ、適切な判断材料を提供していることは評価できる。
- ・教育成果については、教育実績、就職状況、資格取得状況など、入学案内やホームページ、学校見学会、オープンキャンパス等で詳細に説明している。
- ・学納金は各学科とも、他校の状況や保護者の経済状況、教育内容や教育環境に照らしても妥当な水準である。

■基準 8 財務

評価 4.00

- ・借入金がなく、すべてを自己資金で賄っており、財務諸表の通り財務基盤は安定している。今後も学生数の確保を図り、継続して財務基盤の安定確保に努めていただきたい。
- ・学園全体の予算編成方針に基づいて計画を立案し、各校の運営計画に従って予算が執行されており、予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっている。
- ・外部監査や内部監査を毎年実施しており、指摘事項については適切に是正措置を講じていると思われる。
- ・財務情報については、理事会の承認を得るとともに、ホームページ等で公開されており、事務局に決算書類等の帳票を備え付けている。

■基準 9 法令等の遵守**評価 4.00**

- ・法令や設置基準の遵守については、適正に行なわれているものと判断しています。また、教職員に対しても、法令の改正・新法令の制定の都度、注意を促している。
- ・個人情報の保護については、適正な管理運用が行われているものと思うが、今後もより一層対策を強化し、個人情報の流出などがなく、定期的な注意喚起をお願いしたい。クラウド化情報管理もデータを持たない点では、より厳格になるのではないだろうか。
- ・自己評価については、「学校自己評価委員会」を組織し、定期的な評価を通して問題点を明らかにするとともに、その対策および改善策を検討している。
- ・自己評価結果については、「学校自己評価報告書」としてホームページ上に公開している。

■基準 10 社会貢献・地域貢献**評価 4.00**

- ・高校生向けの簿記講座・医療秘書関係講座などを無料で実施していることは、社会貢献という意味では大変望ましいことだと思う。また、社会人対象の簿記講座や各種検定試験会場としての提供などについても評価できる。
- ・学校周辺の清掃活動などはこれからも続けて、社会や地域に貢献して欲しい。

■基準 11 国際交流**評価 なし**

- ・留学生の受け入れは、行っていない。

6. 評価委員からの総評

- ・施設の整備に関して老朽化が見られる部分については、優先順位をつけて設備の更新を検討されたい。
- ・卒業生のネットワークは重要である。そのため何かしらのかたちで組織化する必要がある。就職活動に有利になるし、学校全体のイメージ向上にもつながるはずである。
- ・今後アメリカ社会のように転職の時代が予想されるため、卒業生のフォローアップや情報が活かされてくる。
- ・すべてにおいてやっておくことは大変だと考える。ある程度しぼってするのもいいのではないか。学生それぞれの良さを出すようにするのも必要。
- ・問題点に対する改善策もしっかり練り込まれている。
- ・事細かに学校自体の自己評価が適正に成されていて素晴らしい。

学校法人八文字学園 水戸経理専門学校

〒310-0812 茨城県水戸市浜田 2-11-18
